

Dentistry, Quo Vadis?

—フロネシスに基づいて(X)—

信頼される歯科医療とは 歯学の本髄“咬合学の基準”に向けて —骨免疫学から再考する骨再生—

基礎科学者と臨床家が一堂に会して歯学の将来を議論する「Dentistry, Quo Vadis?」は今年で21回目を迎える。1stステージ「う蝕、歯周病、不正咬合、3つの病因論について」(10回)、総括(1回)、そして2ndステージ“フロネシスに基づいて”(9回)において、骨代謝研究からインプラント「学」確立にとって大きな知的財産を得た。さらに、ヒトの全生涯にわたって「歯を残す、機能を残す」ことこそが「Dentistry」の大きな使命であることも明確となり、「骨免疫学」は「細菌と力による骨吸収」解明に大きな布石をもたらした。そして、今年、いよいよ、咬合学の基準を、そして総合的観点に立った「Dentistry」を、確立する時期が来た。今年度はこれまでのプロダクツをもとに参加者全員とひとつずつコンセンサスを得ようと考えている。

Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

2 Days Seminar 2018

12 / 8 ▶ 12 / 9
土 日

10:00~18:00

9:30~17:00

座長・総評



高添 一郎
東京歯科大学
名誉教授

座長・演者



須田 立雄
日本士歯会会員
埼玉医科大学
ゲノム医学研究センター 専員教授



山田 正
東北大学名誉教授
介護老人保健施設
清和会 所長

演者



小宮山 彌太郎
フローネマルク・
オッセointegrレション・
センター 院長



吉成 正雄
東京歯科大学
口腔科学研究センター 教授



春日井 昇平
東京医科歯科大学
大学院歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学教授



高橋 直之
松本歯科大学
総合歯医学研究所 所長



須田 直人
明海大学
歯学部歯科矯正学 教授



高見 正道
昭和大学
歯学部歯科歯理学講座 教授



塚崎 雅之
日本学術振興会
特別研究員

Limited consensus 1

■ 歯肉縁上縁下プラークおよび歯周病の発生機序について
山田 正「なぜ、嫌気培養なのか」

Limited consensus 2

■ インプラントの安全、安心について
小宮山彌太郎、春日井昇平、吉成正雄

Limited consensus 3

■ 咬合学を再考する
須田立雄「Dentistry, Quo Vadis?と骨代謝学の接点」
高橋直之「なぜ共存培養だったのか」
塚崎雅之「骨免疫学から骨再生を考える」
高見正道「リモデリングから歯の萌出を考える」
須田直人「歯根膜と骨代謝と咬合」

総評：高添一郎

会場 星陵会館(東京)

千代田区永田町2-16-2(永田町駅下車6番出口から徒歩3分)
Tel.03-3581-5650 <http://www.seiryokai.org/kaikan.html>

参加費

(含税昼食込)
2日間

■ 歯科医師 ¥20,000

■ 歯科技工士・歯科衛生士・学生 ¥10,000

※参加費の返金は致しかねますので、ご了承ください。

京都銀行 白梅町(はくばいちょう)支店 普通3787964
QuoVadis企画会 代表 竹澤保政(クオアデイスキカクイダイヒョウタケザヤスマサ)

【申込み方法】左記の口座に参加費をご入金の上、参加申込書に
必要事項をご記入いただき、下記までFAXでお申込みください。

お振込・FAXの締切は12/6(木)まで

それ以降は当日受付にて。お申し込み受領の連絡は省略させていただきます。領収書発行は当日受付で承ります。

お問い合わせ先 江本歯科医院 TEL.0797-87-4618 (担当：江本)

●主催：Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

FAX送信用/参加申込書 (2018.12.8~9)

ご氏名： _____ (歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・学生)

連絡先名(診療室等)： _____

連絡先住所：〒 _____

Tel： _____ Fax： _____ e-mail： _____

懇親会(12月8日) ¥8,000： 参加 不参加 (どちらかに○をお付けください)

FAX送信先：0797-87-4677 まで